

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社新潟放送

コード番号 9408 URL <http://www.ohbsn.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹石 松次

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長

(氏名) 赤塚 幸

TEL 025-267-4111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,567	△8.9	△376	—	△350	—	△223	—
23年3月期第2四半期	9,407	3.4	△98	—	△77	—	△31	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △298百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△37.33	—
23年3月期第2四半期	△5.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	19,088		12,280		58.5
23年3月期	19,892		12,610		57.4

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 11,164百万円 23年3月期 11,424百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,765	2.3	451	29.3	454	20.7	191	12.4	31.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	6,000,000 株	23年3月期	6,000,000 株
24年3月期2Q	640 株	23年3月期	581 株
24年3月期2Q	5,999,385 株	23年3月期2Q	5,999,476 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年3月期の個別業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,900	△0.9	218	1.8	114	28.1	19	12

（注） 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、P3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）継続企業の前提に関する注記	11
（5）セグメント情報等	11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
（7）重要な後発事象	12
5. (参考) 四半期財務諸表	12
（1）個別経営成績	12
（2）個別財政状態	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け低下していた経済活動に回復の兆しが見られたものの、欧州の財政問題や円高の進行など懸念材料もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

放送業界におきましては、震災の影響により、ラジオ、テレビともに広告の出稿減やイベントの中止等により厳しい状況が続きましたが、7月以降は一部で回復の兆しが見られました。

また、情報サービス業界におきましては、依然として企業による情報システムへの投資マインドに回復の兆しが見られず、厳しい状況が続きました。

このような状況のなかで、それぞれ異なる分野で事業活動を展開する当社グループは、各事業部門において積極的な営業活動とサービスの提供に努めましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は85億6千7百万円（前期比91.1%）となり、8億3千9百万円の減収となりました。

また、徹底したコストの削減を図り収益の確保に全力を傾けましたが、減収が大きく響き、利益面におきましては、営業損益は3億7千6百万円の損失計上（前年同期は9千8百万円の損失計上）、経常損益は3億5千万円の損失計上（前年同期は7千7百万円の損失計上）、四半期純損益は2億2千3百万円の損失計上（前年同期は3千1百万円の損失計上）となりました。

事業の部門別の概況は次のとおりであります。

放送事業におきましては、ラジオ収入は、震災以降、レギュラースポンサーによる番組の中止や減額が続くなど低迷に歯止めがかからず深刻さを増しました。一方で、テレビ収入は震災の影響で一時大きく落ち込んだものの、7月以降、収益の柱であるスポット収入が東京地区を中心に一部で回復の動きを見せました。しかしながら、前半の減収を補うまでには至らず、放送収入は前年同期には届きませんでした。また、その他の収入も、前年に匹敵するような大型イベントが開催されなかったことから前年同期を大きく下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32億1千5百万円（前期比89.5%）となり、営業損益では8千万円の損失計上（前年同期は1億3百万円の利益計上）となりました。

情報処理サービス事業におきましては、企業によるIT投資は依然として抑制傾向にあることから、県外のソフトウェアの開発収入面で苦戦を強いられた他、受注した機器更新の売上時期が下期にずれ込むものがあるなど、厳しい状況が続きました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は45億3千9百万円（前期比92.3%）となり、営業損益では2億7千4百万円の損失計上（前年同期は2億1千万円の損失計上）となりました。

ホテル及び飲食事業におきましては、新潟市内でのホテル間競争が続くなかで、東日本大震災の影響による宴会等の自粛をはじめ、観光客の減少等が大きく響き、宿泊部門やレストラン部門、宴会部門等いずれも前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億4千6百万円（前期比90.5%）となり、営業損益では4千2百万円の損失計上（前年同期は1千8百万円の損失計上）となりました。

建物サービスその他事業におきましては、不動産、保険、放送業務の各部門が順調に推移した一方で、売上の主力である施設管理部門において各種工事の受注減などにより売上が前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億1千3百万円（前期比94.1%）となり、営業利益では1千9百万円の計上（前年同期は2千6百万円の利益計上）となりました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

### 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は190億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億3百万円減少いたしました。

資産の部では、流動資産が75億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千2百万円減少しております。これは主に受取手形及び売掛金が11億9千5百万円減少したことなどによります。固定資産では、115億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて3千9百万円の増加となりました。

負債の部では、流動負債が40億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億5千6百万円減少しております。これは主に未払金で1億1千9百万円や賞与引当金で6千8百万円減少した他、その他の流動負債でも2億5千1百万円減少したことによるものであります。固定負債は27億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1千7百万円の減少となりました。これは主に長期借入金で1億2千8百万円増加いたしました。役員退職給付引当金が1億1千9百万円減少したことなどによります。

純資産の部では、利益剰余金が2億4千6百万円減少したことなどにより122億8千万円となり、前連結会計年度末に比べて3億2千9百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は58.5%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント増加となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力の放送事業において、売上の柱となるテレビスポット収入が7月以降持ち直しつつあり、当初の予想を上回る動きが見られました。一方で、情報処理サービス事業、ホテル及び飲食事業においては、震災以降、当初見込みを下回る水準で推移したことなどから、連結業績予想につきましては平成23年8月11日に公表いたしました予想値の範囲内となりました。

通期の業績見通しにつきましては、下期においても景気動向に不透明感が残ると見られるものの、情報処理サービス事業における売上の一部が下期以降にずれ込んでいることなどから、前回公表いたしました予想値の範囲内で収まるものと思われま。

なお、当第2四半期連結累計期間の個別の業績につきましては、営業利益、経常利益、当期利益いずれも改善されたことから、前回発表予想を上方修正しております。

修正理由等の詳細につきましては、本日（平成23年11月14日付）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,666,785	2,658,574
受取手形及び売掛金	4,073,879	2,878,879
有価証券	286,906	246,024
商品	97,565	506,678
原材料	16,222	15,363
仕掛品	242,554	493,156
繰延税金資産	258,572	356,008
その他の流動資産	766,183	408,173
貸倒引当金	△11,304	△8,110
流動資産合計	8,397,364	7,554,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,557,385	3,470,011
土地	1,963,181	2,324,664
リース資産（純額）	763,505	692,013
その他（純額）	1,314,450	1,129,540
有形固定資産合計	7,598,521	7,616,230
無形固定資産	290,532	271,100
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584,489	1,659,061
繰延税金資産	1,233,139	1,196,227
その他の投資及びその他の資産	834,535	833,944
貸倒引当金	△46,484	△42,503
投資その他の資産合計	3,605,679	3,646,729
固定資産合計	11,494,733	11,534,060
資産合計	19,892,097	19,088,809
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,334,716	2,215,077
短期借入金	1,085,800	1,085,640
未払法人税等	30,687	14,690
賞与引当金	410,186	341,432
その他の流動負債	657,396	405,819
流動負債合計	4,518,786	4,062,659
固定負債		
長期借入金	1,159,500	1,287,550
リース債務	605,081	524,541
退職給付引当金	369,668	349,596
役員退職慰労引当金	347,188	228,024
アナログ放送設備解体引当金	—	40,640
その他の固定負債	281,359	314,816
固定負債合計	2,762,797	2,745,169
負債合計	7,281,583	6,807,829



（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	5,750	5,750
利益剰余金	11,296,509	11,050,065
自己株式	△425	△444
株主資本合計	11,601,834	11,355,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△177,381	△190,887
その他の包括利益累計額合計	△177,381	△190,887
少数株主持分	1,186,061	1,116,497
純資産合計	12,610,513	12,280,980
負債純資産合計	19,892,097	19,088,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,407,239	8,567,268
売上原価	6,928,784	6,425,073
売上総利益	2,478,455	2,142,195
販売費及び一般管理費	※ 2,577,086	※ 2,518,827
営業損失(△)	△98,631	△376,631
営業外収益		
受取利息	1,277	881
受取配当金	22,841	23,584
受取賃貸料	6,192	4,994
その他	11,115	15,591
営業外収益合計	41,426	45,051
営業外費用		
支払利息	18,711	17,707
その他	1,588	1,323
営業外費用合計	20,300	19,031
経常損失(△)	△77,504	△350,611
特別利益		
固定資産売却益	—	78,713
貸倒引当金戻入額	1,093	—
その他	57	15,561
特別利益合計	1,151	94,275
特別損失		
固定資産除却損	670	13,286
投資有価証券評価損	3,662	—
アナログ放送設備解体引当金繰入額	—	40,640
その他	—	18,012
特別損失合計	4,332	71,938
税金等調整前四半期純損失(△)	△80,685	△328,274
法人税等	△7,260	△43,080
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△73,425	△285,193
少数株主損失(△)	△41,618	△61,246
四半期純損失(△)	△31,806	△223,946

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△73,425	△285,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148,822	△13,436
その他の包括利益合計	△148,822	△13,436
四半期包括利益	△222,248	△298,629
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,452	△237,345
少数株主に係る四半期包括利益	△41,795	△61,283

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△80,685	△328,274
減価償却費	431,160	472,440
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,596	△89,004
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△863,333	△20,071
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	21,575	△119,163
アナログ放送設備解体引当金の増減額（△は減少）	—	40,640
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,973	△7,175
受取利息及び受取配当金	△24,119	△24,465
支払利息	18,711	17,707
固定資産除却損	670	13,286
固定資産売却損益（△は益）	△19	△78,579
投資有価証券売却損益（△は益）	△37	△1,062
投資有価証券評価損益（△は益）	3,662	—
出資金評価損	—	234
売上債権の増減額（△は増加）	1,699,597	1,193,473
たな卸資産の増減額（△は増加）	△621,204	△658,856
その他の資産の増減額（△は増加）	△54,312	327,349
仕入債務の増減額（△は減少）	△349,004	133,923
その他の負債の増減額（△は減少）	△579,650	△282,948
小計	△407,561	589,453
利息及び配当金の受取額	24,119	24,465
利息の支払額	△21,037	△17,778
法人税等の支払額	△58,183	△22,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	△462,663	573,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,507	△194,200
定期預金の払戻による収入	170,000	180,000
有形固定資産の取得による支出	△85,207	△610,945
有形固定資産の売却による収入	230	80
無形固定資産の取得による支出	△43,476	△19,536
投資有価証券の取得による支出	△25,214	△100,856
投資有価証券の売却による収入	11,641	4,576
差入保証金の差入による支出	△6,383	△14
差入保証金の回収による収入	2,927	7,323
その他の支出	△12,044	△10,291
その他の収入	120	118,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,914	△625,270

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△170,000	△15,000
長期借入金の返済による支出	△133,500	△157,110
長期借入れによる収入	900,000	300,000
リース債務の返済による支出	△70,420	△107,487
自己株式の取得による支出	△2	△18
配当金の支払額	△22,507	△22,436
少数株主への配当金の支払額	△8,280	△8,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	495,289	△10,332
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△188,288	△62,292
現金及び現金同等物の期首残高	3,363,462	2,792,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,175,174	※ 2,730,099

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サービス事業	ホテル及び飲食事業	建物サービスその他事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,531,103	4,887,164	594,166	394,804	9,407,239	—	9,407,239
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	63,413	28,764	9,426	150,882	252,488	△252,488	—
計	3,594,517	4,915,929	603,593	545,687	9,659,727	△252,488	9,407,239
セグメント利益又は損失(△)	103,991	△210,572	△18,786	26,271	△99,095	464	△98,631

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送事業	情報処理サービス事業	ホテル及び飲食事業	建物サービスその他事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,152,099	4,504,987	537,300	372,881	8,567,268	—	8,567,268
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	63,232	34,272	8,920	140,457	246,883	△246,883	—
計	3,215,331	4,539,259	546,221	513,339	8,814,152	△246,883	8,567,268
セグメント利益又は損失(△)	△80,157	△274,723	△42,811	19,317	△378,376	1,744	△376,631

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5.（参考）

平成24年3月期第2四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

### （1）個別経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,215	△10.5	△81	—	△38	—	△50	—
23年3月期第2四半期	3,594	3.7	100	839.5	139	128.9	74	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	△8	46	—	—
23年3月期第2四半期	12	46	—	—

### （2）個別財政状態

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期第2四半期	11,044	9,181	9,181	9,181
23年3月期	11,535	9,268	9,268	9,268